

## 1年音楽 (MYP2 Arts:Music) 【音楽:1.3単位】

### Aims of subject 科目のねらい

The aim of MYP arts are to encourage and enable students to:

MYPの「芸術」のねらいは、生徒に以下のことを促して、修得させることです。

- enjoy lifelong engagement with the arts  
生涯にわたって芸術とのかかわりを楽しむ
- explore the arts across time, cultures and contents  
さまざまな時代、文化、文脈にわたって芸術を探究する
- understand the relationship between art and its contexts  
芸術とその文脈の関係性を理解する
- develop the skills necessary to create and to perform art  
芸術の創作や実演に必要なスキルを培う
- express ideas creatively  
アイデアを創造的に表現する
- reflect on their own development as young artists.  
若い芸術家としての自分の成長を振り返る

### Objectives and Assessment Criteria 目標および評価規準

At the end of year 3, students should be able to:

MYP3の修了時点で、生徒は以下のことを習得している必要があります。

MYP 評価観点	
Criterion A: Investigating 評価規準A: 調査	i. investigate a movement or genre in their chosen arts discipline, related to the statement of inquiry 探究テーマに関連して、選択した芸術分野のムーブメントやジャンルを調査する
	ii. analyse an artwork or performance from the chosen movement or genre. 選択したムーブメントやジャンルの芸術作品またはパフォーマンスを分析する
Criterion B: Developing 評価規準B: 発展	i. practically explore ideas to inform development of a final artwork or performance 実践的にアイデアを探究し、芸術作品やパフォーマンスの完成に向けた取り組みに活かす
	ii. present a clear artistic intention for the final artwork or performance in line with the statement of inquiry. 最終的な芸術作品やパフォーマンスについて、芸術的意図を探究テーマに沿って明確に提示する
Criterion C: Creating/Performing 評価基準C: 創作・実演	i. create or perform an artwork. 芸術作品を創作または実演する
Criterion D: Evaluating 評価規準D: 評価	i. appraise their own artwork or performance 自分の芸術作品やパフォーマンスを評価する
	ii. reflect on their development as an artist. 芸術家としての自分の成長を振り返る

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「Arts guide」に基づいています。

### Related concepts 関連概念 (音楽の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます)

Audience 受け手	Boundaries 境界	Composition 構成	Expression 表現
Genre ジャンル	Innovation 革新	Interpretation 解釈	Narrative 物語
Play 劇・戯曲	Presentation プレゼンテーション	Role 役	Structure 構成

※目標と評価規準はMYP芸術3のものを使用する。

Yearly overview 年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総合的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. 美的感性 2. 個人的・文化的表現 [芸術性] 3. 批判的思考、情動、管理・調整、振り返り	A1 歌唱ア、イ、ウ A2 器楽ア、イ、ウ B1 鑑賞ア、イ  教材 教育出版社「中学音楽1」 ・光の道 ・夏の思い出 教育出版社「中学器楽」 ・喜びの歌 ・家路 ・アメージング・グレイス ・レヴェル・プレイン	・「夏の思い出」「レヴェル・プレイン」※演奏発表【C】《観点1》 ・演奏解説書【B】《観点2》《観点3》 楽譜や歌詞などの情報と音楽を形づくっている要素の特徴を関わせ、よりよい表現を考えて歌唱及びアルトリコーダーによる器楽演奏を行う。併せて、自分の思いや意図を記述した演奏解説書を作成し、発表までの練習過程について実践的探究を示すと同時に自身のパフォーマンスについて評価する。	1. ①知識・技能-C ②思考・判断・表現-B ③主体的に学習に取り組む態度-B・C  2. A-3
	3	1. アイデンティティ 2. 個人的・文化的表現 [システムと決まりごと] 3. 創造的思考、批判的思考、管理・調整、振り返り	A2 器楽ア、イ、ウ A3 創作ア、イ、ウ B1 鑑賞ア、イ  教材 教育出版社「中学音楽1」「中学器楽」 ・日本古謡「さくらさくら」 伝統音楽デジタルライブラリー（洗足学園音楽大学） ・箏曲「千鳥の曲」 ・奏法の映像資料	・自作の前奏を含めた箏曲「さくら」器楽発表【C】《観点1》 ・自作の前奏創作楽曲及び作品解説書【A】《観点2》【C】《観点1》 ・音楽プロセスジャーナル【D】《観点3》 「さくら」のある情景をイメージし、そのイメージに基づく前奏を、音楽を形づくっている要素を交えて日本の伝統音楽の特徴を関わせながら創作する。また、その作品の意図について解説書を記述する。実技発表では自作の前奏から本編までを弾き語りにより演奏する。	1. ①知識・技能-C ②思考・判断・表現-A ③主体的に学習に取り組む態度-D  2. C-17
後期 (10月～3月)	5	1. コミュニケーション 2. 空間的・時間的位置づけ[やりとりと総合作用] 3. 批判的思考、創造的思考、管理・調整、振り返り	B1 鑑賞ア、イ  教材 教育出版社「中学音楽2・3下」 ※ ・組曲「展覧会の絵」から	・楽曲から浮かんだ情景やイメージを可視化した影絵作品の制作物【B】《観点1》 ・影絵作品に関わる作品解説書【A.B】《観点1・2》 ・音楽プロセスジャーナル【D】《観点3》 楽曲の鑑賞により頭に浮かんだ情景やイメージを可視化するため、影絵を作成して上演する。また、その上演作品に対して自身のパフォーマンスを評価する。自分の思い浮かべた情景やイメージと音楽を形づくっている要素とのかかわりについて触れながら、作品解説書を記述する。	1. ①知識・技能-A ②思考・判断・表現-B ③主体的に学習に取り組む態度-D  2. B-9

※ 「中学音楽2・3下」の教科書は2学年での配布となるが、教材として楽曲のみを使用する。